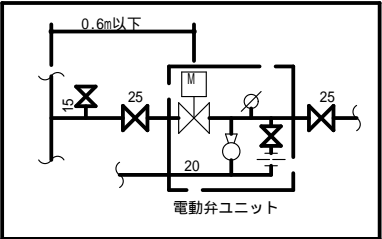


凡 例

記 号	名 称	備 考
○ ↓	コンシールドヘッド	MHSJ009-72-CP
● ↓	コンシールドヘッド (保護カバー付)	MHSJ009-72-CP MZHJ004-P
— — —	終 端 抵 抗	スプリンクラー制御盤内に内蔵()
⊠	電 動 弁 ユ ニ ッ ト	MVCJ004-25
⊠	定 流 量 弁	
⊠	スプリンクラー制御盤	MUWJ001
⊠	警 報 ブ ザ ー	NHW-100C
⊠	仕 切 弁	
⊠	逆 止 弁	
⊠	圧 力 計	
⊠	オ リ フ ィ ス	
⊠	自 動 排 水 弁	
—	配 管	配管用炭素鋼管
—	配 管	別途工事
—	電 路	別途工事

電 路

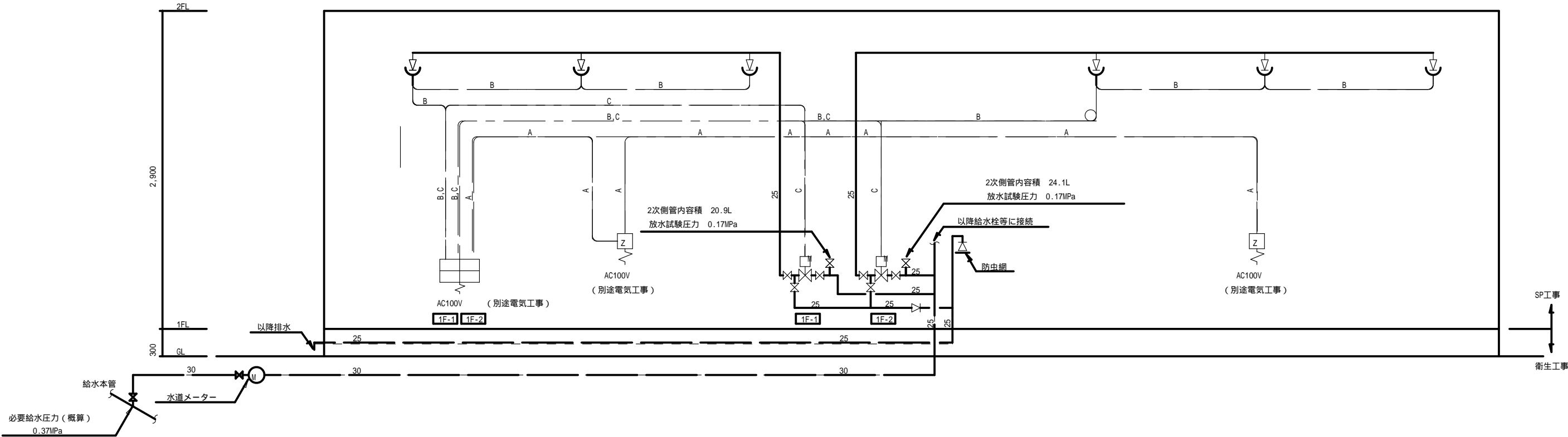
記 号	名 称
A	HP0.9-2C
B	AE0.9-2C
C	HP0.9-4C



電動弁ユニット廻り詳細図

注 記

1. 配管はすべて配管用炭素鋼管とする。
2. 天井隠蔽部のコンシールドヘッドの取付部の巻出配管は可とう性のものとする。
3. 給水管分岐点から電動弁までの配管は0.6m以下とする。
4. 電動弁付属ケーブル（HP0.9-4C）の標準長さは10mのため、延長が必要な場合はHP0.9-4Cを別途現場手配とする。（延長長さは40mまで。40mを超え90mまではHP1.2-4Cを使用すること。）
5. 電動弁を床下やP S内に設置する場合は電動弁、テスト弁の操作及び点検作業が容易にできるような点検口を設けるものとする。
6. コンシールドヘッドは最高周囲温度39 以上となる部分には、設置しないこと。
7. キッチンなどではコンロ等の火器からなるべく離して設置すること。
7. スプリンクラーの制御盤の設置には、専用の取付ボックスを使用すること。
8. 配管経路や配管サイズなどに変更がある場合は、給水本管における必要給水圧力および試験放水圧力を再計算する必要があります。



備 考	訂 正	内 容	TITLE (仮称) グループホームきょうわ 新築工事	SCALE	DATE
			SUBTITLE 消火設備凡例・機器・系統図	1 級建築士事務所 長野県知事登録 (佐久) B 第 81221 号	DRAWING NO P - 5
			ア ー ト 建 築 設 計 (ART)	TEL (0267)23-8551	1 級建築士 第 1 6 3 9 5 2 号
			長野県 小諸市 与良町 1-1-5	FAX (0267)23-8663	小 林 雅 博